

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和2年10月1日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 干布地区区長会からの要望内容ですが、片羽公民館前の道路拡幅整備（市道奈良沢片羽線）については、昨年から5年間で整備いただくということですが、なるべく早く実施くださるようお願いいたします。</p>	<p>建設課</p>	<p>市道奈良沢片羽線は、地域からの要望を受け令和元年度から事業を進め、今年度は権利調査のための境界立会いや関係機関との協議を進めています。</p> <p>今後とも地域と打合せを行いながら早期完成に向け努めていきます。</p>
<p>② 7月28日の豪雨災害時に干布公民館は避難所に指定されず、公民館主事が他の避難所へ応援に行き、留守の状況になりましたが、高掬の避難所の避難者が多くなれば、干布公民館も開設するという話も聞きました。もし、公民館主事が不在の状況で避難所開設となると、避難所が運営できないのではないかと思います。</p> <p>先日行われた自主防災会の理事会で、市の職員の配置を早急に行うということでしたので、なるべく早く作成し、スムーズに避難所運営がなされるようお願いいたします。</p> <p>また、今回の豪雨では、天童市の西部の地域が大きな被害を受けました。干布地域は、災害になりにくい地域であり、今後の干布公民館の改築の際に防災施設の拠点としての考え方を取り入れていただければと思います。</p> <p>加えて、防災無線が非常に届きにくいという問題があったと聞いています。早急に体制をしっかりといただければと思います。</p>	<p>危機管理室 生涯学習課</p>	<p>7月28日豪雨時における公民館の対応として、天童南部・天童中部・津山・山口（山口小学校）・高掬公民館を避難所として各市立公民館主事を中心に人員配置し開設しました。干布地域は、土砂災害等の危険性が低い等の理由から、指定避難所開設には至りませんでした。</p> <p>干布公民館主事は、干布地域での災害発生の可能性を考慮し、津山公民館に配置したところです。</p> <p>今回の避難所対応では、様々な検討課題が見られました。今回の経験をもとに、皆さまからの意見を整理し、全庁的な災害時の職員体制・対応について検討していきたいと考えています。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、避難所対応の人員がより多く必要となりますので、地域や自主防災会の皆さまと連携しながら、地域の安全確保に努めたいと思います。</p> <p>また、令和4年度に予定している干布公民館改築の際は、今回の御意見や地域の皆さまの御意見を大事にし、建設を進めていきたいと考えています。</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和2年10月1日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>③ 新型コロナウイルス感染のため、行事が中止や縮小されたり、在宅勤務の推進等により、東京などの大都市以外でも仕事ができるなど、働き方の変化も起きています。たとえば、天童市は、交通の便が良く、山形百名山の舞鶴山が市の真ん中にあるなど緑が豊かですので、在宅勤務をするなら天童市など、積極的にアピールし、天童市に来てもらえるような施策をしていただきたいと思います。</p> <p>今回、新型コロナウイルス感染症により、懇親会や公民館等のイベントも中止となっています。県内で、現在のところ感染症ゼロが1ヶ月くらい続く中、市でどのように基準を設けるのか、それとも地域にらせていただくのか、お伺いできればと思います。</p>	<p>市長公室 商工観光課</p>	<p>新型コロナウイルス感染症防止対策により、人間将棋をはじめ様々な市や地域の行事やイベント等を中止せざるを得ない状況になりました。</p> <p>しかし、今回の状況は、地方にとってチャンスでもあると思います。天童市においても、首都圏からの移住者をターゲットに、皆様からの御意見や、移住定住を担当している地域おこし協力隊の意見等を参考にしながら具体的な移住施策を検討していきたいと思えます。</p> <p>懇親会等の開催に関する基準については、市が独自で基準を定めることは難しいため、国や県が定める基準を、市でも連動して考える必要があると思えます。この状況は、今後も一定期間続くと想定していますが、今後は、行事の中止だけを選択するのではなく、細心の注意を払いながら新生活様式を取り入れ、前に進んでいくことが求められていくと思えますので、御協力をお願いします。</p>
<p>④ 最近、青少年に関する世界調査の結果を伝えるニュースがありました。日本は健康面ではトップクラスですが、夢、希望を持っているかの項目では最下位クラスでした。前から感じていたことですが、若者の元気が無いように感じます。高齢化が進み、空き家が増え、人口が激減するなど、今後希望や夢を持って生きていける状態</p>	<p>市長公室</p>	<p>若者が希望を持てる施策については、内閣府が調査した、若者を対象とした意識調査の結果によると、自らの「将来への希望」については対象の7か国中、日本は最下位でした。</p> <p>今回、御提言いただいたことを踏まえ、若者に選ばれるまちづくり、夢や希望を持てるようなまちづくりをさらに推進していきたい</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和2年10月1日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>にないのかもしれませんが。 市として、若者が夢や希望をもてるまちづくりをぜひ推進していただきたいです。</p>		<p>いと考えています。</p>
<p>⑤ 果樹園の放任園地の整地について、昨年、全国で爆発的に広がった「りんご黒星病」が、今年はいぶ減り、市の放任園地の伐採の補助をいただいておりますが、まだ多くの放任園地があり、様々な病気が蔓延しています。りんご黒星病は、発病後の特効薬は無く、罹病前に防除する必要がありますが、例年は13回ほどの農薬の散布を今年は、約20回に増やし徹底防除していますが、農薬代金は、一反部(10a)あたり12~13万円と費用がかさみます。農薬を減らすには、病気や害虫の発生源となる放任園を減らすことが不可欠です。 地区としても引き続き耕作放棄地の解消を促す活動を続けていきますが、放任している方は、何度依頼しても聞き入れてもらえないという現状もあります。また、高齢化が進み、ますます放任園が増えることが予想されますので、市の方からも、放任する方に対して強く働きかけができるよう、お力添えをお願いします。</p>	<p>農林課 農業委員会</p>	<p>天童市では、令和元年度の事業として、県と連携して「天童市りんご黒星病緊急特別対策事業」を実施し、殺菌剤(石灰硫黄合剤やベフラン液剤25)の経費を2分の1の補助率で助成を行い、455戸の農家が222haの面積を散布し、一定の効果が認められています。 令和2年度は、天童市では県内でいち早く天童市病虫害被害拡大防止事業(りんご樹木の伐採事業)に取り組み、今年は8件ほどこの事業を活用しています。 今回の伐採等の施策を活用しながら、今後も関係団体等と連携して耕作放棄地の発生防止・解消に取り組んでいきますので、御理解と御協力をお願いします。</p>
<p>⑥ 上荻野戸内を通るスーパー農道は、紅花トンネルを使って、山形市や県外からのアクセスが非常に便利です。2018年には、「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産</p>	<p>市長公室 農林課 生涯学習課 文化スポーツ課</p>	<p>村山東部広域農道、いわゆる「スーパー農道」は、御提言のとおり、大変美しい景観が続き、またアクセスも良いことから、本来の広域農道としての役割の他、天</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和2年10月1日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>に認定され、今後、観光客の増加が期待されるところです。</p> <p>毎年、天童ラ・フランスマラソンのコースとして、たくさんのランナーをお迎えし、応援しておりますが、上荻野戸には松尾芭蕉ゆかりの句碑があり、その辺りから見渡す景色は大変美しいです。この景勝地を人が集うよう有効に活用し、是非地域の活性化へ繋がりたいと強く希望します。</p> <p>例えば、地元で採れたおいしい農産物を販売する直売所やパークゴルフ場など、高齢者が楽しめる施設があれば非常に良いのではないのでしょうか。天童市の東の玄関口として、近隣の市、県からの来客数を増やすきっかけとなり、天童市全体の利益に繋がることかと思えます。農振地域として新たな活路を見いだせるような、明るい見通しを期待します。</p>	<p>都市計画課</p>	<p>童ラ・フランスマラソンやサイクリングのコースとしても親しまれています。日本遺産に認定された「山寺が支えた紅花文化」に係る事業については、県や関係市町、関係団体等で「山寺と紅花」推進協議会を構成して取り組んでおり、令和元年度は、スーパー農道沿いのじゃがらむら体験交流センターにデジタルサイネージ（デジタル映像機器による電子看板・掲示板）を設置し、「山寺と紅花」PR動画等を放映しました。今後も、推進協議会構成団体等と連携を図りながら、地域活性化等に繋がっていきたいと考えています。</p> <p>なお、施設等の設置につきましては、大部分が農地であり農振法や農地法等の規制がかかる区域ですので、現在のところ、市として開発する計画はありません。ただ、農産物の販売等を考えている事業者や団体等がありましたら、市に御相談いただければと思います。</p>
<p>⑦ 青少年指導センター指導委員の委嘱について、選任の過程や仕組みがわかりません。そのため、指導活動について地区内の関心度が低いように思います。</p> <p>委嘱にあたって、地区の意向が反映されるようになれば、地区内の関心度も上がるのではないかと思います。選任にあたり、地区の意向が反映されるような仕組みを</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>青少年指導センター指導委員及び青少年育成推進員の選任等については、地区の意向等を反映させるため、市立公民館長から御推薦をいただき、天童市教育委員会が委嘱しています。なお、これらの委員は、青少年の健全育成を図るために、青少年指導センター指導委員は、巡回指導を、青少年育成推進委員はいじめ防止標語</p>

干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和2年10月1日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>考慮いただければと思います。なお、選任にあたっては、市立公民館や区長会等が最良と思います。</p> <p>青少年育成推進員についても同様かと思しますので、併せてお願いします。</p>		<p>等による広報啓発活動等を中心に実施しており、こうした役割なども考慮し地区で選任いただいていますので、御不明な点がございましたら、市立公民館までお問い合わせください。</p>
<p>⑧ 現在、金婚賀詞の贈呈については、希望する対象者が自ら申し出る仕組みになっています。申し込みを忘れてたり、対象であることに気付かない人もいますかと思しますので、市の方から対象の方へ案内し、希望を取るようにはどうでしょうか。</p> <p>お祝いごとですので、対象の方には確実にお知らせすべきであると考えます。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>金婚賀詞贈呈を申込制にしているのは、婚姻年月日は戸籍にのみ記載されており、本市に本籍を有する方しか確認できないことや、戸籍は法的な根拠なしに閲覧することができず、該当者に市から御案内することができないためです。時期を逃しても、翌年度以降も申込みは受け付けていますので、今後も多くの方にお申込みいただければと思います。</p>